

# 平成 29 年度山口リハビリテーション病院第 1 回外部講師招聘研修会報告

1. テーマ: 有効視野と運転適性
2. 講師: 千葉県立保健医療大学健康科学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻 准教授  
藤田 佳男 先生
3. 日時: 平成 29 年 9 月 1 日(金) 17:10~18:30
4. 場所: 山口リハビリテーション病院 1 階 リハビリセンター
5. 対象: 医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
6. 参加人数: 約 90 名

この度は、千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻准教授の藤田佳男先生に学ぶ機会をいただきました。



まず、有効視野と運転適性の関連性についてお話があり、有効視野の概念について詳しく説明していただきました。その後、有効視野に影響を与える因子や課題要件の違いによる変化など、具体的に説明がありました。その中で、注意の広さと深さの関係を理解し、実際の運転状況に与える影響を評価することの重要性を学びました。また、臨床における課題設定の重要性に改めて気づくことができました。

次に、有効視野の訓練効果や実車評価との関連性について、多くの先行研究の提示があり、その有効性について説明していただきました。特に、VFIT<sup>※</sup>に関する説明では、評価結果の解釈の仕方や患者さんへの説明など、具体的な使用方法について、多くの視点を学ぶことができました。また、有効視野とIADLとの関連性についてのお話は、大変興味深い内容でした。



藤田先生には、H27 年度に続き 2 度目の講義を賜り、今回も大変多くのことを学ばせていただきました。また、この度当院も VFIT<sup>※</sup>を導入しました。これまでの取り組みと併せて運用することで、より充実した運転リハビリテーションを提供できるよう、研鑽を続けていきたいと思っております。

最後に、藤田先生には限られた時間の中で多くの視点からご講義いただきまして、誠にありがとうございました。

(文責 作業療法課長 田中 伸二)

※VFIT とは Visual Field with Inhibitory Task の略で、PC を用いた抑制課題付有効視野測定法です。